



連石 武則
水曜会
(70分)

7月豪雨災害時の対応と今後の対策は

問 ①市域全体で避難場所の開設数36カ所は適切だったか。また、小学校などの公的施設の避難場所管理の在り方は。②消防団は地域と密接につながり、被災者の救助活動にも秀でている。装備品の充実強化を求



石口 智志
水曜会
(70分)

新施設整備後のごみ持ち込みは

問 ①次期ごみ処理施設整備後のごみの受け入れの対応は。②拠点支所単位に中間施設を設置する考えは。

答 ①ごみの持ち込み時間の延長や休祝日の受け入れなど、持ち込み方法の拡充に努める。②経費や安全面から現在設置は考

める。

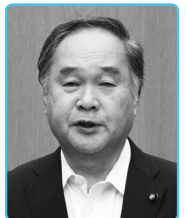
答 ①いつとときに市内全域に避難指示を発令したため、追加的な指定避難所の開設が追いつかなかったことは大きな課題と考える。公共施設は職員による開錠が基本だが、災害時に活用が見込まれる場合には、地域の方に開錠していただくなどの対応を検討する。②近年の大規模化する自然災害に対応するため、団員の安全装備の充実を基本に、より機動的な活動を行うために必要な無線機など、装備品の強化に努める。

いじめ防止の行動化を

えていないが、現在実施している支所等の資源回収は、可動式分別ボックスの設置等検討する。

問 いじめを許さないという道徳的価値観だけではいじめ防止の行動につなげることは難しいが、取り組みは。

答 道徳の授業では、いじめを扱った教材の登場人物を交代で演じることを通して自分のこととして考え、議論が起ころる学びづくりに取り組んでいる。



門田 雅彦
公明党
(65分)

世界バラ会議福山大会の開催に向けて

問 ばら公園には、休憩できるカフェテリアやばらに関する資料館等がない。2024年に開催される世界バラ会議福山大会を見据え、PFIなどで民間資金を活用して「ばらのミュージアム」を設置してはどうか。



生田 政代
公明党
(45分)

浸水対策は

問 7月豪雨災害では、浸水被害が大きかった。浸水被害の原因と今後の対応は。

答 記録的な雨量で、芦田川の水位が上昇し県河川等からの水はけなくなり、市街地の水路や水路が接続する河川、排水ポンプ等それぞれが流下、排水する能力を

答 世界バラ会議の開催は「ばらのまち福山」を世界に向けて発信する絶好の機会と捉えている。また、100万本のばらのまち達成後の新たなばらのまちづくりの取り組みを考えている。

そのため、ばらの持つ香りや健康、医療、そして、食などの多様な機能について研究するとともに「ばらのまち福山」、また、「国際都市福山」として発信するための必要な要件について、ハード面の整備も含め、新たな視点からその可能性を探っていく。

避難行動要支援者
避難支援制度は

超えたため被害が拡大したと考える。「福山市域における浸水対策協議会」で有効な対策を検討する。

問 制度の推進状況と課題は。

答 9月1日現在、80学区のうち個人の避難プランを作成していない学区は58、避難プランができていない学区は22である。本制度の課題把握のためこのたびの豪雨における実態を調査し、実効性のある避難プランとなるよう取り組む。

* P F I (Private Finance Initiative) : 民間事業者の資金や経営能力、技術的能力を活用し、公共施設等の建設、改修、維持管理、運営等を行う手法